

製品名: CCRL1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08167**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	40kDa

抗原情報

遺伝子名	CCRL1
別名	CCRL1; CCBP2; CCR11; VSHK1; C-C chemokine receptor type 11; C-C CKR-11; CC-CKR-11; CCR-11; CC chemokine receptor-like 1; CCRL1; CCX CKR
遺伝子 ID	51554.0
SwissProt ID	Q9NPB9
免疫原	抗血清はヒト CCRL1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 291-340

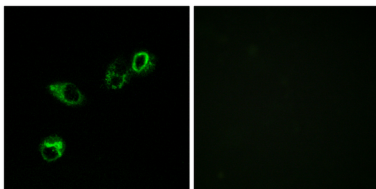
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、G タンパク質共役受容体ファミリーのメンバーであり、C-C 型ケモカインの受容体

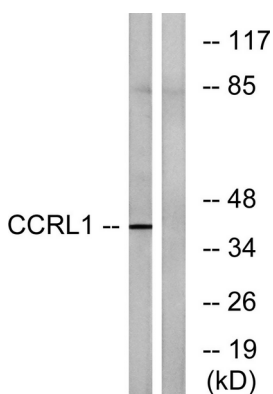
である。この受容体は、CCL19/ELC、CCL21/SLC、CCL25/TECKなどの樹状細胞およびT細胞活性化ケモカインに結合することが示されている。この遺伝子の擬似遺伝子は6番染色体上に存在する。同じタンパク質をコードする選択的スプライシング転写バリエーションが報告されている。[RefSeq提供、2013年7月]機能：CCL2、CCL8、CCL13、CCL19、CCL21、およびCCL25の受容体。類似性：Gタンパク質共役受容体1ファミリーに属する。組織特異性：主に心臓で発現する。肺、膵臓、脾臓、結腸、骨格筋、小腸では発現が低い。

研究分野

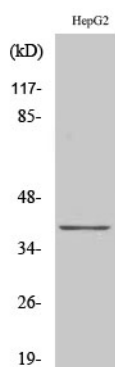
画像データ



CCRL1抗体を用いたMCF7細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



CCRL1抗体を用いたHepG2細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



CCRL1ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析